



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

自治体広報誌「水郡線90周年特集」記事“掲載NG”問題

組合員だけでなく未加入者からも怒り・呆れ・疑問の声!!

ハイブリッド 水郡線営業所分会
2025年1月21日 No. 13
発行責任者: 長嶋 竜一

「地域貢献・地域活性化」は単なるポーズ!? 会社の意に沿わない活性化は排除か!?
自治体の広報誌「水郡線90周年特集」記事にJR東日本会社が直前になって“掲載NG”ちゃぶ台返し!!
自治体広報担当へ電話1本「ボール de ウォーク」の写真が組合活動にあたるから掲載してはならない!!
しまいに「組合員とはどのような関係か」「どのような経緯があったのか」と失礼極まりない逆質問!!

JR東日本会社の異常な経営姿勢に組合員だけでなく多くの未加入者からも怒りや疑問の声が寄せられる!!

つちうん 2025年1月20日発行 第18号
上野運輸区分会情報 発行責任者: 情宣部

JRの常識は世間に通じるのか?

水郡線広報誌問題

JR東日本の常識は世間に通じるのか? 本紙は、JR東日本の常識が世間に通じるのか? という疑問を提起し、組合員だけでなく多くの未加入者からも怒りや疑問の声が寄せられるという現状を報告している。

すいしがい 2025年1月22日 No. 002
水郡線サービス分会

町広報誌に掲載する写真に対して「組合活動にあたる」と本社が掲載拒否!

輸送サービス労組では労働組合として組合員の労働条件・雇用を守る観点のみならず「地域貢献・地域活性化」を通じて「赤字路線の存続」について、その路線を利用される地域の方々や自治体と共に「地域活性化」の取り組みを続けてきた。

水郡線管内では、水郡線営業所分会が中心となり埴町の自治体と共に地域活性化の発信を行う事を目的に町広報誌「水郡線90周年特集」に組合員のインタビューや写真を掲載する事を進めてきた。また、この埴町からの要請には現場長も同意・賛同していただいた。

しかし掲載拒否となった状況の中、本社から突如として・・・

「記事は掲載してはならない」「理由はボール de ウォークの写真が組合活動にあたる」「組合員とはどのような関係なのか?」「どのような経緯があったのか?」

自治体広報担当へ電話1本での失礼極まりない対応!
みなさん、これらの対応についてどの様に思いますか?
このような「異常な経営姿勢」に対して埴町の内外から多くの怒りや疑問の声が寄せられています!

～埴町で出された組合員や組合員以外の社員の声～
「何かがおかしい、事情が解らない。掲載も許可しているのになぜ取り下げに、会社の信頼に関わると思います。」「地域貢献・活性化」のための企画を考えていただけ、進めていくのが不安になってきました。

異常と言える強引な経営姿勢に対して全ての仲間と連携しよう!

不屈 JTSU-E 埴町運輸区分会
2025年1月22日 No. 002
発行責任者: 情宣部

やっぱりJR東日本の常識は非常識!?
町広報誌に掲載する写真が「組合活動にあたる」と本社が掲載拒否!!

私たちが輸送サービス労組は、労働組合として組合員の労働条件・雇用を守るという当り前の活動を埴町内外の皆さんに広げています。特に、全社が公表している赤字ローカル線「3路線72区間」問題では、その地域在住の方々や自治体と共に行動し、地域貢献や地域活性化を通じて赤字路線の存続を目指しています。

水戸線管内では現在、水郡線の存続を目指す水郡線営業所分会が中心となり、特に埴町の自治体と共同行動を行っています。insar@tsu-e.net@nccn.com.このように取り組みを通じて、町広報誌の「水郡線90周年特集」に組合員のインタビューや写真を掲載し「水郡線の魅力を発信する」ことを進めていきました。この埴町からの要請には「掲載も同意」しており、勤務時間内外問わず迅速に実現してまいりました。

しかし・・・突然本社から「記事は掲載してはならない!」
「ボール de ウォーク」の写真が組合活動にあたる!!
「組合員とはどのような関係なのか?」「どのような経緯があったのか?」と逆質問!!

みなさん! どう思いますか! ?
私たちは、このような「異常な経営姿勢」を見過ごし、当たり前前の組合活動を埴町と埴町内外で進めています!
水郡線営業所分会と共に闘おう!

・会社がこんなこと(掲載中止)していたこと知らなかった。せつかく町が水郡線について広げてくれるのに、何をしていますか。・横暴な対応、会社は何様なのか? 自治体に文句言えるほど、自分たちは何かやっているのか? 業務としてインタビューを許可しているのに、本社の“掲載ダメ”で中止にするなら、現場長は何も判断できていない。せつかく善意・無償でやってくれていることにケチつけて何がしたいのか? 今後も信頼関係を大切にしてもらいたい。・“組合が関係している”だけでダメといっているならおかしい。差別だよ。会社ができていないことをやられて、面白くないって言うているのと同じこと。・支社広報が町の広報誌に口を挟む権利はない。有り得ない。・支社の誰がそんなことをしているのか知りたい。常識も知らないのか。・(組合員だから)ダメでは、究極のパワハラ差別だろう。・町の広報を止める“官僚体質”になっていることに驚く。・会社の対応に寒気を感じる。・会社の対応に狂気を感じる。・やる気やモチベーションも失う内容。こんなことされたら誰でも頭にくる。町にも失礼が過ぎる。・社内報でなく社外の広報誌に対して組合活動を理由にストップをかけるのは違和感しかない。事前に現場長が認めているならなおさら。・現場で認められたことを組合活動だからと言って本社がストップをかけるとは、JR東日本の経営姿勢を問い糺すべき! ・この会社が信用できないのは、きれいな事を言っておきながらこういうことを平然とやってしまうあたり。こういう会社に水郡線の赤字が...とか存続が...とか語ってほしくない。・この会社はやるよね、そういう会社だもん。・本社がストップした→経営陣の判断だろう。紹興酒飲み過ぎて判断おかしくなったのでは? ・本社の言いなりになって正常な判断ができない管理者。・(組合員じゃなかったら)大丈夫だとしてら、完全な人権侵害だ。・人権侵害、差別、パワハラで訴えてもいい話ですよ。・水郡線活性化とか言っているのがウソにしか見えない。言っていることとやっていることが違う。・組合うんぬんは町の広報には関係ないこと。非常識にも程がある。・お客さまからの信用、信頼? 得られるわけないでしょ。

JR東日本会社の異常な経営姿勢を許さない!!
そして水郡線の存続・活性化に向けた取り組みは
こんな会社には任せられない! 鉄路で働く私たちからつくり出そう!!